

各 位

平成18年3月31日  
近畿日本ツーリスト株式会社  
総務・広報部 担当：佐藤  
(TEL：03 - 3257 - 1661)

### 旅行取扱状況の概観（平成18年2月分）

海外旅行の取扱額をみると、団体旅行では一般団体が大きく前年実績を下回り低迷、学生団体も前年大型団体取り扱いの反動もあって大幅減となったため、団体計は前年実績を下回った。企画旅行はホリデイの伸び悩み、その他企画旅行の取り扱い低調により、前年実績に届かなかった。個人旅行も海外航空券等の取り扱い不振等により伸びが鈍化し、前年実績に達しなかった。

海外旅行合計は、団体旅行の不調、企画旅行・個人旅行の取り扱い低調により、前年比90.5%と前月に続いての前年比マイナス。

国内旅行の取扱額をみると、団体旅行では一般団体が取り扱い低調で前年実績を下回り、学生団体も伸び悩んだため、団体計は前月に続いて前年実績を下回った。企画旅行はメイトの取り扱い不振の影響で、大きく前年実績を下回った。個人旅行はJR券、宿泊券の取り扱いが低調で、前年実績に達しなかった。

国内旅行合計は、団体旅行の取り扱い低調、企画旅行・個人旅行の不調により前年比89.9%と前月に続いて前年実績を下回った。

外人旅行は、個人旅行需要が取り扱い好調で、前年比113.3%と大きく前年実績を上回った。

2月の総取扱額は、国内企画旅行、海外団体の不振の影響が大きく、前年比90.2%と前月に続いての前年比マイナスとなった。

#### 1. 海外旅行

##### (1) 団体旅行

一般団体は、その他団体の取扱いは増加したがイベント関係の取扱いが伸び悩み、10ヶ月連続の前年比マイナスと低迷状態。学生団体の大幅減は、前年の大型団体取り扱いの反動によるもので、想定範囲内である。方面別の取り扱いでは、アメリカ本土が前年並みの他、香港、ミクロネシアおよびオセアニアが大きく伸びた。

##### (2) 企画旅行

低調が続いていたホリデイは取扱いが増加したが、取扱額前年比で99.5%と僅かに前年実績には届かなかった。方面別取り扱いでは、アメリカが堅調に推移、台湾も好調を維持し、ミクロネシアおよびヨーロッパは二桁の増加率と好調であった。また、前年スマトラ沖地震の反動によりタイ、シンガポールは前月に続いて大幅増となった。一方、中国は前年比で63%と低調から抜け出せない状況。

#### 2. 国内旅行

##### (1) 団体旅行

一般団体はイベント関係、その他団体が共に取り扱い低調で前年実績を下回り、再び前年比マイナスとなった。学生団体は、修学旅行、校外学習等の取扱絶対額が増加したが、前年実績に届くまでには至らなかった。

##### (2) 企画旅行

メイトは、日並びの悪さに加えて大雪・寒波と厳しい条件が重なったため取扱いは鈍化し、前年比87.6%と前月に引き続いて前年実績を下回り、3ヶ月連続の前年比マイナスと低調な取り扱いが続いている。商品別の状況では、遠距離商品（北海道、九州、沖縄方面）近場商品が共に取り扱い低調であった。

（以上）